

		評価の観点				4	3	2	1	平均	昨年度	増減			
基礎基本の定着と学力の向上	キャリア教育の充実	保護者	学校は、家庭でお子さんと進路について真剣に考える機会がもてるように、進路情報を提供していると思いますか。	20	34	46	0	2.74	2.97						
		生徒	学校は、計画的に進路学習を行い、進路を考える上で参考となる情報を提供していますか。	43	43	14	0	3.30	3.16						
		教職員	学校は、生徒が進路について真剣に考える機会がもてるように、生徒に進路に関する情報を提供していますか。	30	70	0	0	3.30	3.22						
	分かる授業の推進	保護者	先生方は、わかりやすい授業に努めていると思いますか。	20	37	40	3	2.74	2.97						
		生徒	先生方は、わかりやすい授業に努めていると思いますか。	41	51	5	3	3.30	3.22						
		教職員	あなたは、わかりやすい授業に努めていますか。	30	50	20	0	3.10	3.11						
	個別指導の充実	保護者	先生方は、お子さんの適性や能力を理解し、必要に応じて、それを伸ばすよう個別に励ましや助言を行っていると思いますか。	29	34	34	3	2.89	2.90						
		生徒	先生方は、あなたの適正や能力を理解し、必要に応じて、それを伸ばすように励ましや助言を行っていると思いますか。	35	35	30	0	3.05	2.97						
		教職員	生徒の適正や能力の把握に努め、必要に応じて、それを伸ばすようにあなたは励ましや助言を行っていますか。	40	50	10	0	3.30	3.33						
	個別に合わせた家庭学習の徹底	保護者	学校は、お子さんに家庭学習への支援や助言をおこなっていると思いますか。	26	49	23	3	2.97	2.97						
		生徒	先生方は、家庭学習への支援や助言を行っていると思いますか。	32	51	16	0	3.16	3.00						
		教職員	学校は、生徒が家庭で学習に取り組めるように、支援や指導を行っていますか。	30	60	10	0	3.20	3.78						
<p>【意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校長先生が個別に勉強を教えて下さる時があり、理解できるように指導してくれる。 ・教科によって分かりやすい授業とそうでないものがあるのではないか。 ・定期テストの結果をみて、平均点が低すぎる教科があるという事実からすると、分かりやすい授業や子どもの適性や能力を理解しているとは思えない。 ・課題をしていない子に、根気強く指導されている話を聞きます。 															
<p>【考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒は全ての項目で評価が高くなっている。先生方の取組の効果は上がっていると考え。 ・教師ひとり一人が、教材研究を充実させ、分かりやすい授業を展開するように今後も努めていく。 ・分かりやすい授業について、生徒と保護者の評価が分かれており、保護者がいつでも授業を参観して頂けるように、その機会を積極的に知らせていく。 ・家庭学習の取組や各教科の勉強について個別指導が必要な生徒に対し、学校の取組だけでなく、家庭と協力しながら、具体的な支援が行えるように努める。 ・キャリア教育を充実させ、生徒が自分の将来についてしっかり考えるように取り組んだ。生徒の評価は高いが、その結果や成果を保護者等にもっと知らせ、共にキャリア教育の推進を図っていきたい。 															
意見		<ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の定着と学力の向上の評価がもっと上がるように頑張ってもらいたい。 ・保護者の学校への関心を高め、保護者の協力をいかにしてもらおうか、その啓発のあり方や工夫について共に考えていく必要がある。 ・子どもが学校の話や家庭で話すことや、保護者と子どもの関係づくり、家庭学習の充実を図る手立てを、小学校ともさらに連携して取り組んで欲しい。 													
学校運営協議会の評価									4	・	③	・	2	・	1

		評価の観点				4	3	2	1	平均	昨年度	増減
元気でやさらぎのある安全な学校	元気の出る推進学校	保護者	学校は、お子さんが元気の出るような学校行事を工夫したり、環境を整えたりしていると思いますか。	26	54	20	0	3.06	2.90	▲		
		生徒	学校は、元気の出るような学校行事を工夫したり、環境を整えたりしていると思いますか。	41	46	11	3	3.24	2.81	▲		
		教職員	学校は、生徒の元気が出るように、学校行事を工夫したり、環境を整えたりしていますか。	50	40	10	0	3.40	3.78	▼		
	礼法指導の推進と立腰	保護者	学校は、お子さんにあいさつの仕方や礼儀、姿勢などについて、正しく実践できるように指導していると思いますか。	29	54	17	0	3.11	3.29	▼		
		生徒	学校は、あいさつや集会等での礼の仕方、授業の始めや終わりの立腰の指導をしっかりと行っていますか。	41	51	8	0	3.32	3.22	▲		
		教職員	学校は、生徒に礼の仕方や立腰の指導を行い、生徒が実践できるようにしていますか。	20	60	20	0	3.00	3.44	▼		
	生徒指導とサポーター体制の充実	保護者	先生方は、お子さんの相談事や悩み事などについて、じっくり聞く機会をもつようにしていると思いますか。	23	43	26	9	2.80	2.84	→		
		生徒	先生方は、相談事や悩み事があるときに、話をじっくり聞いてくれますか。	43	43	14	0	3.30	3.06	▲		
		教職員	あなたは、生徒の相談事や悩み事などについて、じっくり話を聞く機会をつくっていますか。	30	50	20	0	3.10	3.33	▼		
	人権感覚の醸成	保護者	学校は、差別やいじめなどは許されないということをお子さんに教えていると思いますか。	34	51	6	9	3.11	3.06	▲		
		生徒	学校は、差別やいじめは許されないという人権教育を行っていると思いますか。	57	32	8	3	3.43	2.97	▲		
		教職員	学校は、差別やいじめなどは許されないという環境をつくり、その指導を計画的に行っていますか。	40	60	0	0	3.40	3.44	→		
	危機管理の徹底	保護者	学校は、避難訓練や安全点検を計画的に実施し、安心・安全な場所になっていると思いますか。	51	46	3	0	3.49	3.26	▲		
		生徒	学校は、避難訓練や安全点検を計画的に実施し、安心・安全な場所になっていると思いますか。	59	38	3	0	3.57	3.41	▲		
		教職員	学校は、避難訓練や安全点検を計画的に実施し、安心・安全な場所になっていると思いますか。	80	20	0	0	3.80	3.78	→		
【意見等】												
<ul style="list-style-type: none"> ・自然にあいさつが出来る子どもが減っている。 ・安全については黄色い腕章をつける日があり意識をもたせている。 ・相談事や悩みについて、生徒から話を聞くだけで解決されていない気がすることもある。 ・スポーツフェスタにおける細かな配慮がされている。 												
【考察】												
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は全ての項目で評価が上がっている。学校の取組の成果が出ていると考える。 ・日常生活において常にアンテナを高くして生徒の様子を把握していく。教育相談は毎学期実施しているが、それ以外にも日頃からのチャンス相談等を積極的に心がけており、生徒からの評価は高い。場合によっては外部との連携も積極的に図っていく。 ・挨拶については、生徒と保護者の評価が分かれており、自分から積極的に挨拶できるように、生徒会を中心にして、取り組んでいけるようにする。 ・学校行事については、生徒を主体に、より達成感が味わえるようなものになるよう、今後も工夫・改善に努める。 												
意見		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒がより達成感を味わえるように、生徒主体での学校行事の工夫を今後も進めて欲しい。 ・地域での挨拶は良くしてくれる方である。だが変質者など防犯上の理由から、知らない人への挨拶については積極的に推進していく必要はないと考える。 										
学校運営協議会の評価		4 ・ ③ ・ 2 ・ 1										

			評価の観点					4	3	2	1	平均	昨年度	増減
自己の体力向上と健康管理のできる生徒の育成	基本的生活習慣の確立と定着	保護者	お子さんは、早寝・早起き・朝ごはん・整理整頓ができていますか。	20	46	26	9	2.77	2.45	↑				
		生徒	あなたは、早寝・早起き・朝ごはん・整理整頓ができていますか。	43	43	14	0	3.30	3.31	→				
		教職員	学校は、早寝・早起き・朝ごはん・整理整頓の大切さを教え、実践できるようにしていますか。	40	50	10	0	3.30	3.56	↓				
	体力向上の実践のため	保護者	学校は、お子さんの健康維持や体力向上のために、積極的に運動をしたり、体を動かしたりする機会をもつようにしていると思いますか。	29	49	20	3	3.03	3.03	→				
		生徒	学校は、あなたたちの健康維持や体力向上のために、積極的に運動をしたり、体を動かしたりする指導を行っていますか。	49	46	5	0	3.43	3.38	↑				
		教職員	学校は、生徒の健康維持や体力向上のために、積極的に運動をしたり、体を動かしたりする取組をしていますか。	40	50	10	0	3.30	3.56	↓				
	感染症の徹底予防	保護者	学校は、お子さんの健康診断の結果をもとに、健康指導をしたりインフルエンザ等の感染症予防に努めていると思いますか。	37	54	9	0	3.29	3.13	↑				
		生徒	学校は、インフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症を予防するために、手洗いやうがいを徹底的に呼びかけていますか。	30	65	5	0	3.24	2.88	↑				
		教職員	学校は、お子さんの健康診断の結果をもとに、健康指導をしたりインフルエンザ等の感染症予防に努めていると思いますか。	50	50	0	0	3.50	3.56	→				
	実教の充実	保護者	学校は、生徒に命の尊さを理解させ、健康に関する自己管理の大切さについて、日頃から指導を行っていると思いますか。	34	46	20	0	3.14	3.06	↑				
		生徒	学校は、命の尊さや安全行動の大切さを教え、その意識をもって生活するように呼びかけていますか。	41	49	11	0	3.30	3.00	↑				
		教職員	あなたは、生徒が自他の命の尊さを理解し、安全行動の意識をもって生活するように、日頃から指導をしていますか。	40	50	10	0	3.30	3.44	↓				

【意見等】

- ・特に整理整頓ができない。
- ・規則正しい生活や朝ごはんについては、親の指導不足も否めない。

【考察】

- ・部活動の運営の在り方に関する方針 {体制整備や休日の設定 (平日1日及び土日いずれか1日の計週2日を休養日とする)} について、今後も保護者へ理解していただくよう努める。
- ・基本的な生活習慣については、家庭の教育力の低下が考えられる。PTA活動 (家庭教育学級等) ・学級懇談等においても啓発を行っていく。
- ・「命の尊さ」や健康管理の大切さについて、さらに意識の向上が図られるように今後も取り組んでいく。

意見

- ・「早寝・早起き・朝ごはん」や「整理整頓」など規則正しい生活は家庭の役割であり、家庭の教育力の向上を図っていかなければならない。

学校運営協議会の評価

4 ・ ③ ・ 2 ・ 1

		評価の観点					4	3	2	1	平均	昨年度	増減
ふるさとに関する学習と体験学習の推進	学校の充実	保護者	学校運営協議会が学校を支援していただいていることを知っていますか。	63	0	0	37	2.89	3.13	↓			
		生徒	学校運営協議会が学校を支援していただいていることを知っていますか。	38	0	0	62	2.14	2.78	↓			
		教職員	学校運営協議会が学校を支援していただいていることを知っていますか。	100	0	0	0	4.00	4.00	→			
	地域の伝統芸能	保護者	学校は、地域の伝統芸能（棒花体操など）の継承に力を入れていると思いますか。	34	51	11	3	3.17	3.10	↑			
		生徒	学校は、地域の伝統芸能（棒花体操など）の継承に力を入れていると思いますか。	41	46	11	3	3.24	3.13	↑			
		教職員	学校は、地域の伝統芸能（棒花体操など）の継承に力を入れていると思いますか。	50	50	0	0	3.50	3.44	↑			
	地域人材の発信と活用	保護者	学校は、学校の様子を家庭や地域に伝え、地域人材の活用に努めていると思いますか。	37	49	14	0	3.23	3.00	↑			
		生徒	学校は、学校の様子を家庭や地域に伝え、地域人材の活用に努めていると思いますか。	19	59	22	0	2.97	3.09	↓			
		教職員	学校は、学校の様子を家庭や地域に伝え、地域人材の活用に努めていると思いますか。	70	30	0	0	3.70	3.67	↑			
	有水小との連携	保護者	中学校は、有水小学校と協力して、生徒の教育を行っていると思いますか。	49	37	14	0	3.34	2.97	↑			
		生徒	中学校は、有水小学校と協力して、生徒の教育を行っていると思いますか。	57	41	0	3	3.51	2.91	↑			
		教職員	中学校は、有水小学校と協力して、生徒の教育を行っていると思いますか。	60	40	0	0	3.60	3.11	↑			

【意見等】

- ・学校運営協議会の支援について、その結果や成果を知らせ、市が目指すものになっているのか確認できていない。
- ・鉦踊り（伝統芸能）を文化祭で披露したことは良かった。今後も期待したい。
- ・学校だよりが定期的に発行され、工夫されている。
- ・地区の行事など、生徒が地域の重要な人材であることを自覚している。
- ・棒花体操（伝統芸能）については、もっと練習をしっかりと、きちんとそろってできるような状態までして欲しい。残念である。
- ・小学校との連携のシステムは整備されたが、内容を見直して、充実させていく必要がある。（YuYuランドディ、乗り入れ授業など）
- ・YuYuランドディ以外の交流が、研究公開後減ったと感じる。

【考察】

- ・学校だより等で積極的に情報提供を図っている。今後もより一層、学校から情報を発信していきたい。
- ・学校運営協議会の学校支援について、その結果や成果をPTA総会や参観日等を利用し、もっと紹介・啓発を行っていく。
- ・学校運営協議会との連携を図り、地域人材の活用をより一層図っていききたい。
- ・伝統芸能の継承について、中学生が果たせる役割等について今後も探っていき、それを果たせるようにしていく。
- ・幼小中が連携した教育の推進に対して、生徒・保護者の意識も高く、地域にも定着している。また、連携のあり方について今後も整備していく。

意見

- ・生徒は地域人材の活用にもっと努めて欲しいと願っているようである。地域人材の活用をもっと図っていく工夫をして欲しい。
- ・子供たちが作成した「学校だより」的なものを発行し、地域に配付してはどうだろうか。

学校運営協議会の評価

④ ・ 3 ・ 2 ・ 1

		評価の観点		4	3	2	1	平均	昨年度	増減
食に関する教育の推進	指導に関する	保護者	学校は、朝食の大切さやバランスの良い食事などの食の大切さを指導していますか。	40	49	11	0	3.51	2.91	↑
		生徒	学校は、朝食の大切さやバランスの良い食事などの食の大切さを指導していますか。	59	38	0	3	3.54	3.16	↑
		教職員	学校は、朝食の大切さやバランスの良い食事などの食の大切さを指導していますか。	40	60	0	0	3.40	3.67	↓
	日「弁当」の実施	保護者	「弁当の日」の取組は、食の大切さを理解する取組に役立っていると思いますか。	43	37	17	3	3.20	3.03	↑
		生徒	「弁当の日」の取組は、食の大切さを理解する取組に役立っていると思いますか。	51	35	14	0	3.38	3.09	↑
		教職員	「弁当の日」の取組を通して、食に関する指導の充実ができていますか。	80	20	0	0	3.80	3.78	→

【意見等】

- ・食の大切さを理解出来ているところまで、知っているかどうかは分からない。
- ・「弁当の日」については、弁当箱を洗うところまで、やらせてもらいたい。

【考察】

- ・「弁当の日」の取組が定着し、生徒・保護者ともに食の大切さの理解に役立っている。
- ・「食の大切さ」について今後も機会をとらえて積極的に啓発を行い、家庭との連携を図る。更に健康との関連も行っていく。
- ・評価が高くなった項目について、その要因を分析し、効果的であった取組について、さらに充実させていく。

意見

・保護者・生徒ともに評価が高く、食に関する指導や「弁当の日」の取組も充実しているようである。食に関する教育の推進を今後もしっかりと図って欲しい。

学校運営協議会の評価

④ ・ 3 ・ 2 ・ 1

【学校教育をより良くするためのアイデアや意見、提案等】

- ・学校のホームページをもっと活用し、各活動の成果や学校評価の結果についてしっかりと公表していくと良い。学校評価アンケートの存在をもっと目立つようにし、評価項目を念頭においた活動や議論が出来るようにすれば良い。
- ・PTAの加入は任意であることをしっかりと周知したうえで、理解・協力をもらえるようにする。
- ・3年生の面接指導に、学校運営協議委員や地域、保護者の方に面接官として協力していただく取組は、大変良い。
- ・先生方の言葉遣いについて、子どもたちは先生の姿を見ているので、言葉遣いには特に注意した方が良い。
- ・今の有水中には、正直、ワクワク感（期待感）がなくなってきています。そして、子ども達の為にという先生方が減ってきている気がします。先生方も人間なので好き、嫌いはあると思いますが、子ども達には、もう少し平等に接して頂けるといいのかなと思います。
- ・保幼小中連携のひとつとして、各種検定試験に対し、学校をあげてチャレンジさせ、子どもたちに「目的」と「計画」、その「成果」を得るまでのプロセス、成功・失敗例を経験させる。初めてのチャレンジが高校入試では不安が大きい。
- ・学校が果たすべき「業務の役割・分担」について明確にし、保護者にも理解してもらおう。その上で、活動の中であまいなものを学校のみを負担させてはならないし、本当に必要なコトは何かを選別すべきである。活動としてそぐわないものは、その都度吟味していく。